



認 定 書

国 住 指 第 3 0 3 4 号
平成 26 年 12 月 12 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 日比 祐市 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-3992
2. 認定をした構造方法等の名称
合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材(不燃材料(金属板を除く))

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	3.0 \pm 0.3以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	495.0 \pm 49.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様														
表面化粧材	<p>合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙</p> <p>…厚さ3.0\pm0.3mm以下</p> <p>質量495.0\pm49.5g/m²以下(有機質量190.0\pm19.0g/m²以下)</p> <p>構成：</p> <p>[1]化粧：合成樹脂フィルム</p> <p>…厚さ0.05\pm0.005mm以下</p> <p>質量40.0\pm4.0 g/m²(固形量)以下(有機質量20.0\pm2.0g/m²以下)</p> <p>構成：</p> <p>[1]-1 合成樹脂フィルム：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)合成樹脂フィルム^{※1}…厚さ0.05\pm0.005mm以下</p> <p>質量14.5\pm1.5g/m²(固形量)以下(有機質量14.5\pm1.5g/m²以下)</p> <p>(2)フッ素系樹脂フィルム…厚さ0.05\pm0.005mm以下</p> <p>質量20.0\pm2.0g/m²(固形量)以下(有機質量20.0\pm2.0g/m²以下)</p> <p>[1]-2 合成樹脂：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)合成樹脂：質量15.0\pm1.5g/m²(固形量)以下(有機質量5.5\pm0.6g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂^{※2}</td> <td>…………… 5.5\pm0.6以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(但し、ポリエステル系は2.0～4.0とする)</td> </tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}</td> <td>……………0～14.0\pm1.4</td> </tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※3}</td> <td>……………0～14.0\pm1.4</td> </tr> </table> <p>(2)なし</p> <p>[1]-3印刷インキ：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)印刷インキ：質量15.0\pm1.5g/m²(固形量)以下(有機質量 5.5\pm0.6g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂インキ^{※4}</td> <td>…………… 5.5\pm0.6以下</td> </tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}</td> <td>……………0～14.0\pm1.4</td> </tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※3}</td> <td>……………0～14.0\pm1.4</td> </tr> </table> <p>(2)なし</p>	合成樹脂 ^{※2}	…………… 5.5 \pm 0.6以下	(但し、ポリエステル系は2.0～4.0とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～14.0 \pm 1.4	無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～14.0 \pm 1.4	合成樹脂インキ ^{※4}	…………… 5.5 \pm 0.6以下	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～14.0 \pm 1.4	無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～14.0 \pm 1.4
合成樹脂 ^{※2}	…………… 5.5 \pm 0.6以下														
(但し、ポリエステル系は2.0～4.0とする)															
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～14.0 \pm 1.4														
無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～14.0 \pm 1.4														
合成樹脂インキ ^{※4}	…………… 5.5 \pm 0.6以下														
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～14.0 \pm 1.4														
無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～14.0 \pm 1.4														

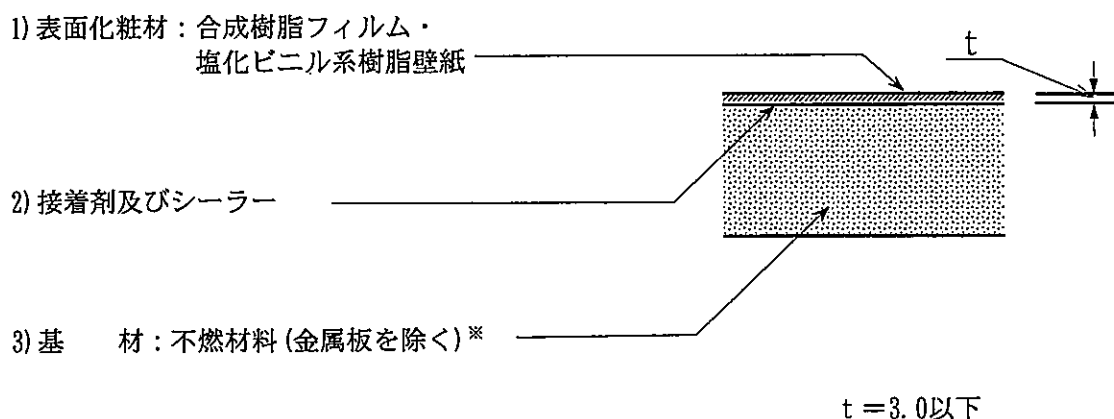
項 目	仕 様																																																
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>[2] 主素材：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量305.0 ± 30.5g/m²以下※⁵ (有機質量105.0 ± 10.5g/m²以下※⁶)</p> <p>構成 (g/m²) ※⁵</p> <table> <tr> <td>塩化ビニル樹脂</td><td>……………78.4± 7.8以下</td></tr> <tr> <td>可塑剤※⁷・減粘剤(カルボン酸エステル系)</td><td>……………42.2± 4.2以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、減粘剤は、0～7.5± 0.8の範囲とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料※⁸</td><td>……………15.7± 1.6以上</td></tr> <tr> <td>有機質系発泡剤(アジジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)</td><td>……………0～3.5± 0.4</td></tr> <tr> <td>有機質系安定剤(亜鉛系化合物)</td><td>……………2.4± 0.2以下</td></tr> <tr> <td>有機質系顔料※⁹</td><td>……………0～2.0± 0.2</td></tr> <tr> <td>添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)</td><td>……………0～1.5± 0.2</td></tr> </table> <p>(2) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量295.0 ± 29.5g/m²以下※⁵ (有機質量95.0 ± 9.5g/m²以下※⁶)</p> <p>構成 (g/m²) ※⁵</p> <table> <tr> <td>塩化ビニル樹脂</td><td>……………70.9± 7.1以下</td></tr> <tr> <td>可塑剤※⁷・減粘剤(カルボン酸エステル系)</td><td>……………38.2± 3.8以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、減粘剤は、0～6.8± 0.7の範囲とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料※⁸</td><td>……………14.2± 1.4以上</td></tr> <tr> <td>有機質系発泡剤(アジジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)</td><td>……………0～3.2± 0.3</td></tr> <tr> <td>有機質系安定剤(亜鉛系化合物)</td><td>……………2.2± 0.2以下</td></tr> <tr> <td>有機質系顔料※⁹</td><td>……………0～1.8± 0.2</td></tr> <tr> <td>添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)</td><td>……………0～1.4± 0.1</td></tr> </table> <p>(3) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量285.0 ± 28.5g/m²以下※⁵ (有機質量85.0 ± 8.5g/m²以下※⁶)</p> <p>構成 (g/m²) ※⁵</p> <table> <tr> <td>塩化ビニル樹脂</td><td>……………63.4± 6.3以下</td></tr> <tr> <td>可塑剤※⁷・減粘剤(カルボン酸エステル系)</td><td>……………34.2± 3.4以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、減粘剤は、0～6.0± 0.6の範囲とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料※⁸</td><td>……………12.7± 1.3以上</td></tr> <tr> <td>有機質系発泡剤(アジジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)</td><td>……………0～2.8± 0.3</td></tr> <tr> <td>有機質系安定剤(亜鉛系化合物)</td><td>……………2.0± 0.2以下</td></tr> <tr> <td>有機質系顔料※⁹</td><td>……………0～1.6± 0.2</td></tr> <tr> <td>添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)</td><td>……………0～1.2± 0.1</td></tr> </table>	塩化ビニル樹脂	……………78.4 ± 7.8 以下	可塑剤※ ⁷ ・減粘剤(カルボン酸エステル系)	……………42.2 ± 4.2 以下	(但し、減粘剤は、0～7.5 ± 0.8 の範囲とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁸	……………15.7 ± 1.6 以上	有機質系発泡剤(アジジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	……………0～3.5 ± 0.4	有機質系安定剤(亜鉛系化合物)	……………2.4 ± 0.2 以下	有機質系顔料※ ⁹	……………0～2.0 ± 0.2	添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	……………0～1.5 ± 0.2	塩化ビニル樹脂	……………70.9 ± 7.1 以下	可塑剤※ ⁷ ・減粘剤(カルボン酸エステル系)	……………38.2 ± 3.8 以下	(但し、減粘剤は、0～6.8 ± 0.7 の範囲とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁸	……………14.2 ± 1.4 以上	有機質系発泡剤(アジジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	……………0～3.2 ± 0.3	有機質系安定剤(亜鉛系化合物)	……………2.2 ± 0.2 以下	有機質系顔料※ ⁹	……………0～1.8 ± 0.2	添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	……………0～1.4 ± 0.1	塩化ビニル樹脂	……………63.4 ± 6.3 以下	可塑剤※ ⁷ ・減粘剤(カルボン酸エステル系)	……………34.2 ± 3.4 以下	(但し、減粘剤は、0～6.0 ± 0.6 の範囲とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁸	……………12.7 ± 1.3 以上	有機質系発泡剤(アジジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	……………0～2.8 ± 0.3	有機質系安定剤(亜鉛系化合物)	……………2.0 ± 0.2 以下	有機質系顔料※ ⁹	……………0～1.6 ± 0.2	添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	……………0～1.2 ± 0.1
塩化ビニル樹脂	……………78.4 ± 7.8 以下																																																
可塑剤※ ⁷ ・減粘剤(カルボン酸エステル系)	……………42.2 ± 4.2 以下																																																
(但し、減粘剤は、0～7.5 ± 0.8 の範囲とする)																																																	
無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁸	……………15.7 ± 1.6 以上																																																
有機質系発泡剤(アジジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	……………0～3.5 ± 0.4																																																
有機質系安定剤(亜鉛系化合物)	……………2.4 ± 0.2 以下																																																
有機質系顔料※ ⁹	……………0～2.0 ± 0.2																																																
添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	……………0～1.5 ± 0.2																																																
塩化ビニル樹脂	……………70.9 ± 7.1 以下																																																
可塑剤※ ⁷ ・減粘剤(カルボン酸エステル系)	……………38.2 ± 3.8 以下																																																
(但し、減粘剤は、0～6.8 ± 0.7 の範囲とする)																																																	
無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁸	……………14.2 ± 1.4 以上																																																
有機質系発泡剤(アジジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	……………0～3.2 ± 0.3																																																
有機質系安定剤(亜鉛系化合物)	……………2.2 ± 0.2 以下																																																
有機質系顔料※ ⁹	……………0～1.8 ± 0.2																																																
添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	……………0～1.4 ± 0.1																																																
塩化ビニル樹脂	……………63.4 ± 6.3 以下																																																
可塑剤※ ⁷ ・減粘剤(カルボン酸エステル系)	……………34.2 ± 3.4 以下																																																
(但し、減粘剤は、0～6.0 ± 0.6 の範囲とする)																																																	
無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁸	……………12.7 ± 1.3 以上																																																
有機質系発泡剤(アジジカルボンアミド系、オキシスパンゼンポリブチラジド)	……………0～2.8 ± 0.3																																																
有機質系安定剤(亜鉛系化合物)	……………2.0 ± 0.2 以下																																																
有機質系顔料※ ⁹	……………0～1.6 ± 0.2																																																
添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	……………0～1.2 ± 0.1																																																

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{※10} : (1) ~ (3) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙 : …厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下 質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下 (有機質量$65.0_{\pm 6.5}$g/m²以下) 構成 (g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …$65.0_{\pm 6.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}$15.6_{\pm 1.56}$以下とし、かつ有機質量を$52.0_{\pm 5.2}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …$8.8_{\pm 0.88}$以下 有機繊維^{※11} …$46.0_{\pm 4.6}$以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を$47.0_{\pm 4.7}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}は$1.0_{\pm 0.1}$ ~ $16.6_{\pm 1.66}$とする。)</p> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p> <p>(2) 裏打紙 : ([2] 主素材が (2) 又は (3) の場合に限る) …厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下 質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下 (有機質量$75.0_{\pm 7.5}$g/m²以下) 構成 (g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …$75.0_{\pm 7.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}$18.0_{\pm 1.80}$以下とし、かつ有機質量を$60.0_{\pm 6.0}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …$10.1_{\pm 1.01}$以下 有機繊維^{※11} …$53.0_{\pm 5.3}$以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を$54.0_{\pm 5.4}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}は$1.0_{\pm 0.1}$ ~ $19.2_{\pm 1.92}$とする。)</p> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3) 裏打紙： ([2] 主素材が (3) の場合に限る) …厚さ0.5 ± 0.05mm以下、質量150.0 ± 15.0g/m²以下(有機質量85.0 ± 8.5g/m²以下) 構成(g/m²):1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …85.0 ± 8.5以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}20.4 ± 2.04以下とし、かつ有機質量を68.0 ± 6.8以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …11.6 ± 1.16以下 有機繊維^{※11} …61.0 ± 6.1以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を62.0 ± 6.2以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は1.0 ± 0.1～22.2 ± 2.22とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p> <p>※1:合成樹脂フィルムは、エチレン・ビニルアルコール共重合体系樹脂フィルム、ポリプロピレン系樹脂フィルムのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレン・アルコールのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5:質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※6:有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※7:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメチル酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8:無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、亜鉛酸亜鉛、シリカ、金属粉(アルミニウム)、鉍物粒及び鉍物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9:有機質系顔料は、アゾ系顔料、フラジオン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10:裏打材は、紙、無機質紙、不織布(non woven paper)のいずれかとする。</p> <p>※11:有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※12}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12:合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニデーン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] でん粉系接着剤</p> <p>…質量$60_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%) { でん粉のり……………$80_{\pm 2}$以上 補強剤※13……………$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー:合成樹脂※14</p> <p>…質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>2) …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] メチルセルロース系接着剤</p> <p>…質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%) { メチルセルロース……………$80_{\pm 2}$以上 補強剤※13……………$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー:合成樹脂※14</p> <p>…質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>※13:補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※14:合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>不燃材料(金属板を除く)</p> <p>平成12年の建設省告示第1400号に例示された不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、アルミニウム、金属板を除くもの</p>

4. 構造説明図(寸法単位: mm)



※平成12年の建設省告示第1400号に例示された不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、アルミニウム、金属板を除くもの